



写真:オオカメノキ (撮影:平成29年4月25日)

「オオカメノキ」

昆虫たちへアピール

木 々の葉が徐々に開き、山は新緑の優しい色に染まります。春の初めに咲く花はシロモジやキリシマミズキのように黄色のものが多い中、少し遅れて咲くこのオオカメノキは真っ白でとても目立ちます。

花の構造はアジサイの仲間とよく似ており、大きく目立つ真っ白な部分は装飾花と呼ばれ、その名のとおり「飾り」です。中央に密集している本物の花が咲き終わるまでこの装飾花は色あせることなく、花粉を運んでくれる昆虫たちにアピールを続けます。

白い花とのコントラストを生み出す大きな葉を亀の甲羅に見立てたことが「大亀の木」の名前の由来です。

池めぐり自然探勝路、県境登山口から大浪池の区間等、えびの高原周辺で多くみられるオオカメノキ。離れて眺めるだけでなく、ぜひ近くで見てください。昆虫たちを呼びこみ、受粉の効率を上げる花の構造美を堪能できます。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

オオカメノキ
Viburnum furcatum

マツムシソウ目 レンブクソウ科